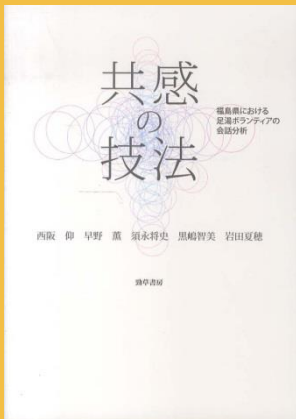


悠悠手にしてほしい一冊

第 26 号 宇都宮大学附属図書館
平成 28 年 10 月

何を読めばいいのかわからない…そんなあなたにオススメの図書をご紹介します！
購入予定図書の情報は、準備が整い次第ブックログ版に掲載しております。
ブックログ版には、右の QR コードよりアクセス出来ます（スマートフォン用）。
様々な本と出会い、悠悠自適な図書館ライフをお送りください。



『共感の技法——福島県における足湯ボランティアの会話分析』：
西阪仰・早野薫・須長将史・黒嶋智美・岩田夏穂 著 勁草書房
推薦者：地域デザイン科学部 准教授 中川 敦

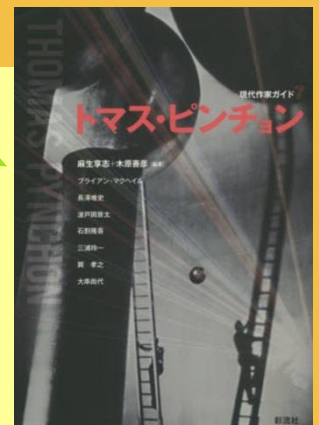
東日本大震災および福島第 1 原子力発電所事故から 5 年が過ぎた。しかし本書は読者に、福島の足湯ボランティアで生まれた「共感」と、それを可能にする「方法」を、当時のコミュニケーションの中にリアルタイムに共在しているかのような感覚で理解させてくれる。学問が社会に示せる意義の一つのあり様を知れる 1 冊である。

配置場所：本館 2F 請求記号：361.3||N87

『トマス・ピンチョン』：麻生享志・木原善彦[編著] 彩流社
推薦者：教育学部 教授 幡山 秀明

ポストモダニズムの旗手トマス・ピンチョン。この現代米作家の壮大な虚構世界のナビゲーターとなるガイドブックが遂に登場した。初心者にもわかりやすい解説と案内図を示してピンチョン・ワールドへと誘う。さらに、従来のポストモダニズム諸論を集約しつつ、演繹的に諸作品を敷衍するマクヘイルの論文等にも挑戦できる。

配置場所：本館 2F 請求記号：930.28||A93



なぜか、「仕事がうまくいく人」の習慣：ケリー・グリーソン（著）、
楡井 浩一（翻訳） PHP 研究所
推薦者：工学研究科 准教授 佐藤 剛史

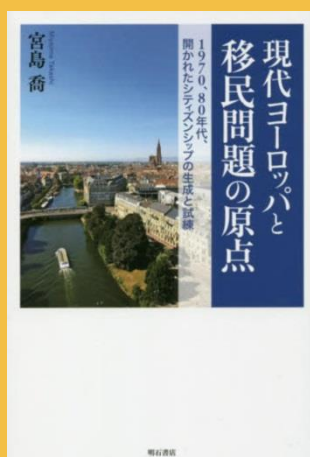
現代社会はやるべきことが多く、時間に追われるのが現実です。この本は、日々のあらゆる作業を効率化するマインドを与えてくれる強力なツールです。基本は今すぐやること。これにより後で問題に立ち戻る手間が省け、頭をスッキリ整理して次に進めるという具合です。時間を上手に作り、色々なことにチャレンジしましょう。

配置場所：本館 2F 請求記号：336.2||G49

ご冗談でしょう、ファインマンさん： R. P. ファインマン(著)，
大貫 昌子 (翻訳) 岩波書店
推薦者：図書課職員 神戸 幸

科学者の自伝エッセイの代表的な作品であり、ファインマン博士はその人物像に対し熱心なファンが多い方です。大学は科学者が仕事をする場であり、教員だけでなく学生の方，地域の方，企業の方，多様な科学者がいらっしやいます。これを読んでおくと，科学者でない我々にとっては傾向と対策になる（？）かも知れません。

配置場所：本館 2F 請求記号：080|||95||S5



現代ヨーロッパと移民問題の原点：宮島 喬 著 明石書店
推薦者：国際学部 教授 田巻 松雄

社会学者として長年ヨーロッパの移民問題や日本での外国人児童生徒問題等を研究してきた著者の最新作。ヨーロッパは難民問題に揺れているが，対岸の火事ではいられない。移民・難民問題を原点から掘り起こす世界的な知が求められている。本書を通じて幅広い知を養いたい。

配置場所： 本館 2F 請求記号：334.4||Mi75

林業男子 いまの森、100年先の森：山崎 真由子 著
山と溪谷社 推薦者：農学部 准教授 金野 尚武

日本は世界有数の森林大国です。国土の約7割を森林が占め，その約半分が利用することを目的につくられた人工林です。しかし使用木材の多くを輸入に頼っており，国内林業は様々な問題を背景に衰退しています。それら問題と向き合う若い林業マンを知ることによって，いま日本は森林を活かす時代であると考えさせられた一冊です。

配置場所：本館 3F 請求記号：651.7||Y48

